

祝！清浄光300号

覚浄寺の寺報「清浄光」が300号を迎えました。1999年1月の創刊号から25年。前住職の入院で三回ほど発行できない月がありましたが、皆様のおかげで続けることができました。

清浄光以前にもガリ版刷りで新聞を発行していたものの、途中で途切れていたのを、前住職が一念発起して「清浄光」として再出発しました。創刊号は、ワープロ印刷のA3版片面刷り、白黒印刷に(前)坊守が色付けして発行していました。その後、ワープロ

ロが製造中止となり、悪戦苦闘してパソコンをマスター。ワードを使いこなしてカラー印刷を実現。やがて両面刷りとなりましたが、レイアウトは創刊当時からほとんど変わっていません。A3サイズの印刷をすることは当時としては画期的なこと、前住職の先見の明には頭が下がります。読みやすさを重視して「大きな字」、「楽しい記事」がモットーですが、1ヶ月が過ぎるのが早く、毎回何を書こうかと悩みが尽きません。これからもよろしくお願ひします。(住職)

平成11年/月/日 創刊号

新年おめでとう ございます

日年中は大変お世話になりました。新年を迎えようとしたとき、昨年を振り返りますと世界的な不況の中で自然環境やいのちの危機が大きな課題となりました。これが一人ひとりが人間らしい生き甲斐と心の問題を問ひ直すことの大切さを呼びかけています。

覚浄寺におきましても八月に前住職(覚浄寺)が逝去し、その節には皆様のご芳情とお世話になりました。九月十九日には蓮如上人五百回忌法要に皆様とご一緒することができました。

本年も門下生の皆様と共に、お念仏の相續につとめ、お念仏の御守護を願ひ申し上げます。

清浄光とは正信傳の阿彌陀さまの十二のお光からつけました。覚浄寺と門下生の心をつなぐをいっそう深め、お念仏の輪が広がることを念じています。

若いときは忙しいので、時間が足りない。年をとると体が不自由になったので、夢れない。人はいつか死ぬ理由を、つけて仏様から逃げ回っている。真にいのちの大切さを知りたい。に限りあることを忘れ去って、・・・蓮如上人のお説教には、「仏法は世間のひまをかきで開くべし。仏法は明日というところあるまじく候。たとい大千世界に満ちらん火をも過ぎゆきて、仏のみ名を聞く人は、なぐ不道にかなうなり」

平成十一年予定

一月一日	修正会
十七日	お講
十九日	仏誕新年会
二十三日	仏誕新年会
二月十四日	大上南無物敷
二月十七日	春のつれづれ
三月二日	春のつれづれ
四月九日	山科五百回忌
五月五日	子供の日花まつり
七月十日	秋のつれづれ
八月八日	前住一周忌
八月十五日	うら盆会
九月二日	秋のお彼岸
十一月十三日	秋のお彼岸
十二月五日	すす払い
十二月三十一日	除夜会

念仏は家庭の光

朝に礼拝 夕べに感謝

食事は身体の糧 念仏は心の糧

三月(弥生)	
九日(土)	南組組会 一三時半
一七日(日)	お講 一一時
二〇日(水)	お彼岸 内勤め
未定	役員会

事前お知らせ 覚浄寺総会

4月7日(日) 19時30~

年間予定・予決算、役員改選ほか 経常費 15,000円をご持参ください。

春のお彼岸

今年は3月17日から23日が彼岸、真ん中の20日が中日となります。春分の日を「お彼岸」とするのは、太陽が、極楽浄土があるとされる真西(まにし)に沈むことから、昔の人が仏様の世界に往生することを願ったのでしよう。今も、西に沈む夕陽を見ると「ありがたいなあ」と思わず声に出してしまいます。寒い冬から少しずつ暖かくなり、眠っていた植物や冬眠していた動物も目覚めます。いのちの不思議を思わずにはいられません。

春の永代経をお勤めしました

春季永代経をお勤めしました。仏説阿彌陀經をお勤めした後、法話の代わりに、みなさんと「仏教パズル」を楽しみました。最初の2問は比較的かんたんな穴埋め問題でしたが、3問目がかなり難解。お互いに助け合って答えを見つけ出しました。中には、答えがわかっていても、すべてのマスの埋まらない人もおられたようです。なお、お配りした資料の文字が小さくて見づらかったのは反省点です。(仏教パズル 野洲 小川信正さん作)



三月の掃除当番は、田中仁一さんです。お世話様ですがよろしくお願ひいたします。



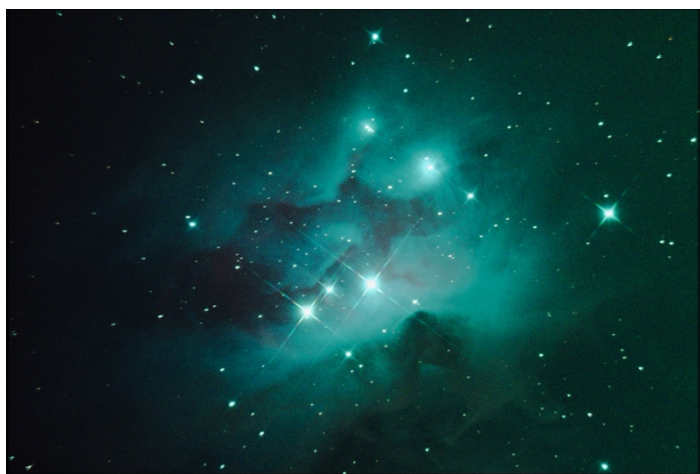
復活！お寺めぐり（台湾編）

台湾のお寺はとにかく派手です。高雄の小高い山の中腹に打鼓岩元亨寺という広大なコンクリートづくりのお寺があります。広い駐車場から街を見下ろすことができ、デートスポットにもなっているそうです。巨大なお堂にお参りすると、これまた巨大な三尊仏がおられました。御堂を支える太い柱にもびっしりと小さな仏様がおられます。多くの信者の方からの寄進だそうです。ここは観光ガイドブックなどには掲載されておらず、まさに信仰のお寺といった趣でした。



台湾は、仏教だけでなく道教のお寺もド派手です。道教のお寺は屋根が独特で、龍が踊り乱れていたり、神様が鎮座されていたり。お堂の中もとても煌びやかで、多くの方がお参りに訪れておられました。台湾のお寺は、ほとんどが石造りで日本のような木造ではありません。大理石のような床はひんやりとして、お堂全体が神聖な空気で満たされているかのようでした。

今回の台湾旅は二泊三日という短い時間でしたが、台湾在住の黄さんがつきつきりで案内してくださり大満足の旅でした。 謝辞



オリオン座にある星雲。走っている人のように見えるので「ランニングマン」と呼ばれています。

住職の星空案内

宇宙には星以外のものは何も無いように思いますが、実はさまざまな物質に満ちた空間です。たとえば、小さな粒子が無数に点在している場所があります。小さくて密度が低いので一つ一つを見ることはできませんが、その空間があまりに広いため、霧がかかったようになり、向こう側の星を見ることができません。それを暗黒星雲と呼びます。その暗黒星雲が、近くに明るい星があると光に照らされてさまざまな色に輝くのです。光りの具合によって、人の形に見えたり動物の形に見えたりして、いろいろと連想するのも楽しいものですよ。

くじクイズ QUIZ

正信偈からの問題です。左のマスの中に入る文字は七高僧のお名前です。順番はバラバラになっています。どこに誰が入るか。漢字も思い出して書いてみましょう。

菩薩造論説

大士出於世

本師 梁天子

広開一代教

決聖道難証

本師 明仏教

独明仏正意

先月号の答え

如来大悲の恩解徳くは
 身を粉子にしても
 報ずべし
 師主知色識の音徳も
 ほねをくだきても
 謝車すべし

